令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数	対象学年・組
国語	論理国語 （ 2 単位）	4年B組

使用教科書:	50大修館・論国706 新編論理国語	使用教材等:	

学習目標: 論理的に「読む」「書く」力を身につける。さまざまな場面で、自らの目標をもって国語の力を身につける。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
常用漢字の読み書きができる。論理的な表現に必要な語彙を理解し、使うことができる。構成を考えて文章を読み書きする。	文章の要旨を正確にとらえ、内容を分析して、問題点を見つけることができる。論理的思考を用いて、表現することができる。	問いを立て、テーマを深めることができる。発想を広げて、多様な他者を想定し、自分の意見を発信することができる。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	筆者の問題意識をとらえさせ、主張を読み取らせる。				6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		「補助線を引きながら考える」（鷲田清一）		○		○	
		「補助線を引きながら考える」（鷲田清一）			○	○	
		「補助線を引きながら考える」（鷲田清一）			○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	自分自身を客観視し、認識を深めさせる。必要な情報を集め、整理し、わかりやすくまとめさせる。（中間考査 5/26-29）		○	○	8
		「補助線を引きながら考える」（鷲田清一）			○	○	
		「自分を客観的に見つめよう」		○		○	
		「自分を客観的に見つめよう」		○	○	○	
		中間考査		○	○		
	6月	「和の思想、間の文化」（長谷川櫂）	筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味させる。例の展開のしかたや具体例の役割について考えさせる。	○		○	8
		「和の思想、間の文化」（長谷川櫂）			○	○	
		「和の思想、間の文化」（長谷川櫂）			○	○	
		「和の思想、間の文化」（長谷川櫂）			○	○	
		「根拠を吟味しよう」		○		○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）				6
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めさせる。問題提起と答えの関係を的確に捉えさせ、自分の考えを持rたせる。				8
		「人類の進化から考える『心』の誕生」		○		○	
		「人類の進化から考える『心』の誕生」			○	○	
		「人類の進化から考える『心』の誕生」			○	○	
		「人類の進化から考える『心』の誕生」			○	○	
	10月	「複数の文章を比較し、分析しよう」	（中間考査 10/14-17）複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めさせる。具体例と主張の関係をとらえさせ、自分の意見を持たせる。	○		○	8
		「複数の文章を比較し、分析しよう」		○		○	
		中間考査					
		「ロボットに心はあるか」（石黒浩）		○		○	
		「ロボットに心はあるか」（石黒浩）			○	○	
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10）発想のしかたや論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取らせる。				8
		セーフティ教室					
		「ロボットに心はあるか」（石黒浩）			○	○	
		「政治の本質」（橋爪大三郎）		○		○	
		「政治の本質」（橋爪大三郎）		○		○	
	12月	「政治の本質」（橋爪大三郎）	（期末考査 12/7-11）	○		○	6
		期末考査		○	○		
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりさせる。論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えを持たせる。				8
		始業式					
		「豊かさとつながり」（阿部健一）		○		○	
		「豊かさとつながり」（阿部健一）			○	○	
		「豊かさとつながり」（阿部健一）			○	○	
	2月	卒業考査	（自宅学習・入選・採点2/19-24）	○	○		8
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）				4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
数学	数学A	（	2	単位）	4学年

使用教科書：	高校数学A	使用教材等：	ステップノート 数学A 高校生の基礎数学トレーニング

学習目標： 基礎的・基本的な計算力を身につけ、自ら積極的に課題解決をしようとする態度を養う。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		基礎力診断テスト		○		○	
		基礎計算		○		○	
		図形の基本　基礎数学トレーニング1		○	○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/26-29）				8
		三角形の角　基礎数学トレーニング2		○	○	○	
		（修学旅行）					
		三角形と線分の比　基礎数学トレーニング3		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	6月	中点連結定理　基礎トレーニング4		○	○	○	8
		角の2等分線と線分の比　基礎トレーニング5		○	○	○	
		三角形の外心　基礎トレーニング6		○	○	○	
		三角形の内心　基礎トレーニング7		○	○	○	
		三角形の重心　基礎トレーニング8		○	○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）	○	○	○	6
		答案返却		○	○	○	
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式					8
		円周角の定理		○	○	○	
		円に内接する四角形		○	○	○	
		四角形が円に内接する条件		○	○	○	
		接戦と弦のつくる角		○	○	○	
	10月	接戦の長さ	（中間考査 10/14-17）	○	○	○	8
		方べきの定理		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
		2つの円		○	○	○	
		スポーツフェスティバル					
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10）				8
		セーフティ教室					
		10進法		○	○	○	
		2進法		○	○	○	
		約数と倍数		○	○	○	
	12月	素数と素因数分解	（期末考査 12/7-11）	○	○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事		○	○	○	
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）					8
		始業式					
		素因数分解の利用		○	○	○	
		最大公約数と最小公倍数		○	○	○	
		整数の割り算		○	○	○	
	2月	ユークリッドの互除法	（自宅学習・入選・採点2/19-24）	○	○	○	8
		卒業考査		○	○	○	
		答案返却					
		入選・採点					
	3月		（学年末考査 3/1-5）				4
		卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
保健体育	体育	（	1	単位）	4年A組・B組

使用教科書：	最新高等保健体育	使用教材等：	

学習目標： 体育の見方・考え方を働かせ、自己の状況に応じて主体的に運動に取り組み、心と体を一体として捉えながら、生涯にわたって継続して運動に親しむ資質・能力を育成する。

観点別の評価基準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	・授業の受け方、係の役割、評価についての説明により安全かつ円滑な授業運営をできるようにすることができる。 ・体力テストを実施し、自身の体力の現状を把握するとともに、測定結果をもとに課題を見出し、体力の向上や健康の保持増進に向けた運動を主体的に選択・実践する。また、自己の変容を振り返り、継続的な運動の在り方について理解を深める。				3
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）				○	
		オリエンテーション				○	
		体つくり運動			○		
		体つくり運動		○			
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/26-29） ・基本的な技能を活用し、自己の状況に応じたプレーの仕方を工夫しながらラリーやゲームを行う。また、仲間と関わりながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。	○			4
		体つくり運動		○			
		バドミントン		○			
		バドミントン		○			
		中間考査				○	
	6月	バドミントン	・基本的な技能を活用し、自己の状況に応じたプレーや関わり方を工夫しながらゲームを行う。また、仲間と協力しながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。		○		4
		バドミントン			○		
		アルティメット		○			
		アルティメット		○			
		アルティメット		○			
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）			○	3
		答案返却		○			
		（職業体験会、学年集会、終業式）		○			
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	・基本的な技能を活用し、自己の状況に応じたプレーや関わり方を工夫しながらゲームを行う。また、仲間と協力しながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。		○		4
		アルティメット			○		
		スポーツフェスティバル練習		○		○	
		スポーツフェスティバル練習		○		○	
		スポーツフェスティバル練習			○	○	
	10月	スポーツフェスティバル練習	（中間考査 10/14-17） ・基本的な技能を活用し、自己の状況に応じたプレーの仕方を工夫しながらラリーやゲームを行う。また、仲間と関わりながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。		○	○	4
		スポーツフェスティバル練習			○	○	
		中間考査				○	
		卓球・体育理論		○		○	
		卓球・体育理論		○		○	
	11月	農高祭準備・農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休11/2-11/10） ・モルックの技能を活用し、得点状況に応じた戦術やプレーの仕方を工夫しながらゲームを行う。また、仲間と関わりながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。				4
		セーフティー教室		○		○	
		卓球・体育理論			○	○	
		ニュースポーツ		○			
		ニュースポーツ		○			
	12月	ニュースポーツ	（期末考査 12/7-11）		○		3
		期末考査				○	
		答案返却、行事		○			
		HR指導、学校行事、終業式		○			
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	・自己の体力や生活に応じた運動の行い方を理解し、無理のない範囲で継続して走るとともに、生涯にわたって健康の保持増進に活用できる運動習慣について考える。				4
		始業式		○		○	
		長距離走		○		○	
		長距離走		○		○	
		長距離走			○	○	
	2月	長距離走	（自宅学習・入選・採点2/19-24）・モルックの技能を活用し、得点状況に応じた戦術やプレーの仕方を工夫しながらゲームを行う。また、仲間と関わりながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。		○	○	4
		長距離走		○		○	
		ニュースポーツ			○		
		ニュースポーツ			○		
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）			○	2
		答案返却、卒業式予行・卒業式		○			
		HR指導、学年集会、行事		○			
		（行事・特別指導）、修了式、		○			
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	39
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
芸術	音楽Ⅱ	（	2	単位）	4A、4B

使用教科書：	教育出版　音楽Ⅱ　Tutti+	使用教材等：	キーボード、ギター、教科書、CD音源、ICT機器等

学習目標：歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習を通して、音楽表現や、音楽について詳しく学ぶ。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的、歴史的及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着ける。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的、協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中） （始業式・入学式・教科書・健診・対面式） 歌唱:『発声の練習曲』、武島　羽衣作詞　瀧　廉太郎作曲『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「楽譜の書き方・読み方」 テストバッテリー　授業なし オンライン学習事前指導　授業なし	歌唱分野では、歌う時の姿勢や、日本語の発音の仕方について学び、旋律や伴奏を聴いて、よりよい音楽表現で歌うために必要な技能を身に着ける。楽典では、楽譜の読み方、書き方を学び、歌唱・器楽・創作分野で生かすことができるようにする。	○	○	○	6
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休 歌唱:『発声の練習曲』、武島　羽衣作詞　瀧　廉太郎作曲『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 修学旅行　授業なし 歌唱:『発声の練習曲』、武島　羽衣作詞　瀧　廉太郎作曲『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 中間考査	（中間考査 5/26-29） 歌唱分野では、歌う時の姿勢や、日本語の発音の仕方について学び、旋律や伴奏を聴いて、よりよい音楽表現で歌うために必要な技能を身に着ける。楽典では、音程について学び、音と音の間にある隔たりを基に、メロディの作られ方を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○	8
	6月	音楽史:「古代から中世までの音楽」 歌唱:武島羽衣作詞、瀧　廉太郎作曲 『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 音楽史:「古代から中世までの音楽」 歌唱:武島羽衣作詞、瀧　廉太郎作曲 『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 音楽史:「古代から中世までの音楽」 歌唱:武島羽衣作詞、瀧　廉太郎作曲 『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 音楽史:「古代から中世までの音楽」 歌唱:武島羽衣作詞、瀧　廉太郎作曲 『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 音楽Ⅱ　期末考査(実技、筆記)	歌唱分野では、歌う時の姿勢や、日本語の発音の仕方について学び、旋律や伴奏を聴いて、よりよい音楽表現で歌うために必要な技能を身に着ける。楽典では、音程について学び、音と音の間にある隔たりを基に、メロディの作られ方を理解する。音楽史では、古代から中世までの時代を生きた作曲家が残した、作品について学習し、鑑賞する。期末考査では、歌唱実技試験と、筆記試験を実施。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	8
	7月	期末考査 答案返却 （職業体験会、学年集会、終業式） （夏季休業中） （夏期休業中）	（期末考査 7/1-7）				6
	8月						
2学期	9月	始業式 鑑賞:J.S.バッハ作曲 『無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番　アダージョ』 楽典:「機能和声とコード」 ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」 ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」 ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」	鑑賞分野では、ヴァイオリンとギターの違いについて理解するとともに、バロックの時代を生きたバッハの作品を鑑賞し、ヴァイオリンという楽器の持つ表現力の幅広さや、バッハの音楽について理解を深める。器楽分野では、ギターを扱い、簡単なコードを押さえて、演奏し、『エーデルワイス』を弾き語りで演奏できることを目標に指導を行う。楽典では、クラシック音楽における、機能和声（和音のルール）と、ポピュラーで用いられる「コード進行」との違いについて理解し、和音の役割や、旋律に対する和音のあてはめ方を理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	8
	10月	都民の日　授業なし ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」 中間考査 ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」 スポーツ　フェスティバル　授業なし	（中間考査 10/14-17） 器楽分野では、ギターを扱い、簡単なコードを押さえて、演奏し、『エーデルワイス』を弾き語りで演奏できることを目標に指導を行う。楽典では、クラシック音楽における、機能和声（和音のルール）と、ポピュラーで用いられる「コード進行」との違いについて理解し、和音の役割や、旋律に対する和音のあてはめ方を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○	8
	11月	農高祭準備、農高祭 セーフティ教室 鑑賞:古典派の交響曲　L.V.ベートーヴェン作曲『交響曲第9番 4楽章』 器楽・創作:キーボード「音楽を作ろう！」楽典:「機能和声とコード」 器楽・創作:キーボード「音楽を作ろう！」楽典:「機能和声とコード」 音楽史:「ルネサンスから古典派までの音楽」 楽典:「機能和声とコード」	（ボランティアの日・農高祭・振休11/2-11/10） 鑑賞分野では、ベートーヴェンの交響曲を鑑賞し、古典派の交響曲の特徴や形式、オーケストラの音色について理解する。器楽・創作では、楽典の学習で得た和音の知識を活用し、簡単な音楽を創作する活動を行う。音楽史では、ルネサンスから古典派までの音楽を鑑賞し、同時期に誕生した楽器の特徴や、音の響きについて理解する。楽典では、クラシック音楽における、機能和声（和音のルール）と、ポピュラーで用いられる「コード進行」との違いについて理解し、和音の役割や、旋律に対する和音のあてはめ方を理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8
	12月	音楽Ⅱ　期末考査(実技、筆記) 期末考査 答案返却、行事 HR指導、学校行事、終業式 （冬季休業中）	（期末考査 12/7-11） 期末考査では、器楽実技試験（ギターの弾き語り）と、筆記試験を実施。	○		○	6
3学期	1月	（冬季休業中） 始業式 創作:キーボード「音楽を作ろう」 鑑賞:I.ストラヴィンスキー作曲『春の祭典』、音楽史:「近現代の音楽」 創作:キーボード「音楽を作ろう」 鑑賞:I.ストラヴィンスキー作曲『春の祭典』、音楽史:「近現代の音楽」 創作:キーボード「音楽を作ろう」 鑑賞:I.ストラヴィンスキー作曲『春の祭典』、音楽史:「近現代の音楽」	創作分野では、1年間を通して学習した、音程や、和音の知識（コード進行）を生かして、メロディや副次的な旋律、伴奏を作り、キーボードで演奏できることを目標に指導する。音楽史では、近現代の音楽を扱う。鑑賞分野では、近現代の音楽が持つ、複雑性や音の特異性に注目し、ルネサンスや中世、古典派の音楽との音楽の違いを理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8
	2月	卒業考査　授業なし 建国記念の日　授業なし 歌唱:『早春賦』 楽典:「近親調」について 歌唱:『早春賦』 楽典:「近親調」について	（自宅学習・入選・採点2/19-24） 歌唱分野では、季節の歌を歌うことを通じて、「季節と人間」、「季節と音楽」のかかわりについて理解する。楽典では、「調（キー）」について学習し、音楽のイメージをより詳細にとらえることができるようになることを目標に、指導を行う。	○ ○	○ ○	○ ○	8
	3月	学年末考査 答案返却、卒業式予行・卒業式 HR指導、学年集会、行事 （行事・特別指導）、修了式、 （春季休業中）	（学年末考査 3/1-5）				4
履修上の注意		楽器を丁寧に扱い、豊かな心で、自然な音楽表現を目指して、取り組みましょう。			予定時数計		78
特記事項等		特になし					

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
美術	美術Ⅱ	（	2	単位）	4年A・B組

使用教科書:	高校生の美術2 （日文 美Ⅱ702）	使用教材等:	教科書 プリント 描画・彩色用具各種
学習目標:	美術Ⅰの内容を基礎として、更に各課題により美術表現の幅を広げ、感性を豊かにし、創造的な表現力を高め自己の価値観を形成する。また、美術文化への理解を深めることを目標とする。		

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
美術に関する知識と各課題での表現の技術の習得度合いの評価。	作品の作成、観察、分析、説明等、思考力を必要とする活動の評価。	美術に対して興味や関心を持ち、授業に意欲的に参加し、積極的に学習に取り組む姿勢への評価。

	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	教科書作品模写により生徒各自の描写力の評価。レタリング練習による正確な描き込みの評価とその後の「文化祭ポスター」制作への展開を図る。				4
		・定期健康診断					
		・教員、生徒自己紹介・教科書作品模写		○	○	○	
		・テストバッテリー			○	○	
		・美の秩序・構成の基本					
	5月	・美の秩序・構成の基本	美術制作における構成の基本を学習する。「文化祭ポスター」制作ではアイデアスケッチでの構図、文字の配置、絵柄の内容を評価。	○	○	○	6
		・4年 修学旅行		○	○	○	
		・美の秩序・構成の基本					
		・中間考査					
		・文化祭ポスター制作		○	○	○	
	6月	・文化祭ポスター制作	「文化祭ポスター」制作ではアイデアスケッチでの構図、文字の配置、絵柄の内容を具体的に表現し、配色、絵の具材料の扱いを含め、表現できたかを評価。	○	○	○	8
		・文化祭ポスター制作		○	○	○	
		・文化祭ポスター制作		○	○	○	
		・文化祭ポスター制作		○	○	○	
	7月	・期末考査	（期末考査 7/2-7）				
		・答案返却					
		・成績会議 ホームルーム					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	・文化祭ポスター制作	「遠近の描き方」プリント学習では１点透視図、２点透視図を理解出来たかを評価。木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチでは、課題内容を理解し、それを具体的に表現でき	○	○	○	8
		・「遠近の描き方」プリント学習			○	○	
		・「遠近の描き方」プリント学習			○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチ			○	○	
	10月	・都民の日	木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチでは、より具体的に「木の特性」と「様々な彫り方」を理解し、それを具体的にスケッチで表現できたかを評価。				2
		・木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチ		○	○	○	
		・中間考査					
		・農業クラブ全国大会					
		・スポーツフェスティバル					
	11月	（農高祭）	木彫「壁掛け鏡」木の特性の理解、彫刻刀の使用方法の理解、及びその裁断と彫刻刀を使った様々な彫りによる表現ができたか、また長期課題で根気強い取り組みが出来たかを評価。				6
		・木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチ		○	○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」木への転写		○	○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」裁断と彫り		○	○	○	
	12月	・木彫「壁掛け鏡」裁断と彫り	木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチから実際の木製板の特性の理解、彫刻刀の使用方法の理解、及びその裁断と彫刻刀を使った様々な彫りによる表現ができたかを評価。	○	○	○	2
		期末考査					
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	木彫「壁掛け鏡」完成までの彫刻刀の使用方法の理解、及び彫刻刀を使った様々な彫りによる表現ができたか、最後に的確な着彩により完成することが出来たかを評価。				6
		・木彫「壁掛け鏡」彫りと着彩		○	○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」着彩		○	○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」着彩		○	○	○	
	2月	・卒業考査					
		・建国記念の日					
		・卒業判定二次会議					
	3月						
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	42
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
書道	書道Ⅱ	（	2	単位）	4－AB

使用教科書:	教育図書　書道Ⅱ	使用教材等:	
学習目標:	書を楽しむ。書の歴史を踏まえ、表現力を高める。創作力を高める。		

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
確かな書の表現技法を習得し、それを活かしてより自由で個性的な書の表現を工夫している	鑑賞等で感性を磨き、自己の感興や意図を表現するため、主体的に個性的・創造的な表現に繋げられている	生涯にわたり書を愛好する心情や、書の伝統と文化を尊重する態度を身につけようとしている

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	自己表現に応用できるよう、基礎力を高める。				6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		ペン字練習					
		ペン字練習					
		小筆による氏名の練習（楷書と行書）					
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/26-29）				8
		ペン字練習					
		篆書体1					
		篆書体2					
		中間考査					
	6月	隷書体1	楷書と異なる点を理解する。				8
		隷書体2					
		隷書体3					
		草書体1					
		草書体2					
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）				6
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	仮名の込められた工夫と伝統思想を学ぶ				8
		仮名の学習1					
		仮名の学習2					
		仮名の学習3					
		仮名の学習4					
	10月	文化祭作品制作	（中間考査 10/14-17）				8
		文化祭作品制作					
		中間考査					
		文化祭作品制作					
		文化祭作品制作					
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10）				8
		セーフティ教室					
		仮名創作					
		漢字創作					
		漢字創作					
	12月	漢字仮名交じり創作	（期末考査 12/7-11）				6
		期末考査					
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）					8
		始業式					
		書き初め					
		漢字仮名交じり創作					
		漢字仮名交じり創作					
	2月	仮名の連綿と散らし書き	（自宅学習・入選・採点2/19-24）				8
		仮名の連綿と散らし書き					
		仮名の連綿と散らし書き					
		ペン字まとめ					
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）				4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数	対象学年・組
英語	英語コミュニケーションⅡ （ 2 単位）	4年A・B組

使用教科書:	VISTA English Communication Ⅱ	使用教材等:	作成したプリント

学習目標: 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能の習得、資格試験に合格できる程度の英語力を身に付ける。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
既習の事項が身についており、授業の中で学習したことが適切な場面で使用することができている。	学んだことを異なる場面でも、その論理・場面に応じた内容を表現できている。	学習課題を学んだことを活かして取り組もうとしている。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）	・ロボットやAIを用いた「スマート農業」における先端技術を通じて、未来の農業について考えさせる。				
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	・現在完了形の受け身について、形を理解し解釈することができるようになる。（中間考査 5/26-29）				8
		ALT①				○	
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	6月	Lesson 7 A Martial Art on Tatami	・「競技かるた」の魅力を知ることを通して、日本文化への理解を深める。 ・関係代名詞の基礎を理解し、適切に用いることができるようにする。	○	○	○	8
		Lesson 7 A Martial Art on Tatami		○	○	○	
		Lesson 7 A Martial Art on Tatami		○	○	○	
		ALT②				○	
		Lesson 7 A Martial Art on Tatami		○	○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7） ・答案返却 ・1学期のまとめ	○	○	○	6
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	・動物や自然環境について「バイオロギング」を通して理解する。				8
		Lesson 8 Biologging		○	○	○	
		Lesson 8 Biologging		○	○	○	
		Lesson 8 Biologging		○	○	○	
		ALT③		○	○	○	
	10月	Lesson 8 Biologging	・分詞構文や強調構文など様々な英語の構文を適切な場面で使用することができる。（中間考査 10/14-17）	○	○	○	8
		Lesson 8 Biologging		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
		ENJOY READING! The Open Window		○	○	○	
		ALT④				○	
	11月	農高祭準備、農高祭	・これまでの学習を通して得た知識で小説の内容を英語で理解する。（ボランティアの日・農高祭・振休11/2-11/10）				8
		セーフティ教室					
		ENJOY READING! The Open Window		○	○	○	
		ALT④				○	
		ENJOY READING! The Open Window		○	○	○	
	12月	ENJOY READING! The Open Window	（期末考査 12/7-11） ・答案返却 ・2学期のまとめ	○	○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	・第一次世界大戦における「クリスマス休戦」について、文化背景や時代を考慮しながら世界平和について考える。				8
		始業式					
		ALT⑤				○	
		ENJOY READING! The Christmas Truce		○	○	○	
		ENJOY READING! The Christmas Truce		○	○	○	
	2月	4年卒業考査	・3学期のまとめ ・答案返却 （自宅学習・入選・採点2/19-24）	○	○	○	8
		答案返却					
		まとめ					
		まとめ					
		一次募集・採点					
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）				4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
農業	課題研究	（	4	単位）	4年A組

使用教科書:	実教出版「食品製造」	使用教材等:	プリント等

学習目標: 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					12
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		オリエンテーション		○		○	
		調査、研究、実験		○	○	○	
		調査、研究、実験		○	○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/14-19）				16
		調査、研究、実験		○	○	○	
		中間考査					
		調査、研究、実験		○	○	○	
		調査、研究、実験		○	○	○	
	6月	調査、研究、実験		○	○	○	16
		調査、研究、実験		○	○	○	
		調査、研究、実験		○	○	○	
		調査、研究、実験		○	○	○	
		調査、研究、実験		○	○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）				12
		答案返却					
		（セーフティ教室、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	要旨集作成		○	○	○	16
		要旨集作成		○	○	○	
		要旨集作成		○	○	○	
		要旨集作成		○	○	○	
		要旨集作成		○	○	○	
	10月	展示発表パネル製作	（中間考査 10/14-17）	○	○	○	16
		展示発表パネル製作		○	○	○	
		中間考査					
		展示発表パネル製作		○	○	○	
		（セーフティ教室・農高祭準備）					
	11月	（農高祭）	（農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6）				16
		プレゼンテーション資料作成		○	○	○	
		プレゼンテーション資料作成		○	○	○	
		プレゼンテーション資料作成		○	○	○	
		プレゼンテーション資料作成		○	○	○	
	12月	発表原稿作成	（期末考査 12/8-12）	○	○	○	12
		期末考査					
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）					16
		発表原稿作成		○	○	○	
		発表練習		○	○	○	
		発表練習		○	○	○	
		発表会リハーサル		○	○	○	
	2月	課題研究発表会	（自宅学習・入選・採点2/20-25）	○	○	○	16
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/2-6）				8
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意	なし	予定時数計	156
特記事項等	なし		

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
農業	食品製造	（	1	単位）	4年A組

使用教科書:	実教出版「食品製造」	使用教材等:	
学習目標:	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を身に付ける。		

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるようみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					3
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		豆類の特徴とその加工品		○		○	
		大豆の加工①			○	○	
		大豆の加工②			○	○	
	5月	大型連休	（中間考査 5/14-19）				4
		肉類の特徴とその加工品		○		○	
		中間考査		○	○		
		豚肉の加工①			○	○	
		豚肉の加工②		○		○	
	6月	鶏肉の加工①			○	○	4
		鶏肉の加工②			○	○	
		酒類とは			○	○	
		酒類製造の基礎		○		○	
		振り返り			○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）	○	○		3
		答案返却					
		（セーフティ教室、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	ワイン①		○		○	4
		ワイン②			○	○	
		ビールと清酒①			○	○	
		ビールと清酒②		○		○	
		加熱装置とその利用			○	○	
	10月	加熱殺菌と冷却	（中間考査 10/14-17）	○		○	4
		冷却装置とその利用		○		○	
		中間考査		○		○	
		かくはん混合		○		○	
		（セーフティ教室・農高祭準備）					
	11月	（農高祭）	（農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6）				4
		次世代の食品工場		○		○	
		品質管理の必要性		○		○	
		従業員の管理と教育		○		○	
		施設・設備の整備と管理		○		○	
	12月	振り返り	（期末考査 12/8-12）		○	○	3
		期末考査		○	○		
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）					4
		作業体系とは		○		○	
		作業体系の改善		○		○	
		食品企業の経営		○		○	
		新商品開発		○	○	○	
	2月	卒業考査	（自宅学習・入選・採点2/20-25）	○	○		2
		振り返り					
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/2-6）				0
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意	なし	予定時数計	35
特記事項等	なし		

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
農業	生物活用	（	2	単位）	4年A組（類型選択）

使用教科書:	実教出版「生物活用」	使用教材等:	プリント等
学習目標:	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、園芸作物の活用に必要な資質・能力を育成する。		

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
園芸作物の活用に関する基礎的な知識を身につけ、それらの生物の特性を活用した活動を理解している。園芸作物の活用に関する基礎的な技術を身につ	園芸作物の活用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し	園芸作物の活用について興味・関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけ

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	インゲン、エダマメの定植の仕方などを写真を用いて説明する。。				6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		（4年遠足）					
		夏野菜定植、播種		○	○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、ジャガイモについて	レタスの定植の仕方やジャガイモの植え方を写真を用いて説明する。（中間考査5/26～29）	○		○	8
		夏野菜定植、播種		○	○	○	
		修学旅行					
		管理、除草作業①		○	○	○	
		中間考査					
	6月	管理、除草作業②ラベンダースティックの作成	ラベンダースティックの作成を手順表を作り説明する。	○	○	○	8
		ジャガイモ収穫		○		○	
		管理、収穫作業①		○	○	○	
		管理、収穫作業②		○	○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）	○	○	○	6
		答案返却		○	○	○	
		（セーフティ教室、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	秋作準備（マルチはり）	ダイコン、ハクサイの播種の仕方を写真を用いて説明する。	○		○	8
		ダイコン、ハクサイ、カブ播種		○	○	○	
		アブラナ科作物について		○		○	
		間引き、土寄せ、補植作業		○	○	○	
	10月	（がん教育）	管理、除草作業の意味を考えながら作業をする。（中間考査 10/13-16）				8
		管理、除草作業③		○	○	○	
		中間考査					
		管理、収穫作業③、農高祭準備		○	○	○	
		（スポーツフェスティバル）					
	11月	（農高祭）	（農高祭・振休・ボランティアの日 11/2-11/11)クリスマスリースを飾る意味を説明し作成する。				8
		管理、収穫作業④		○	○	○	
		クリスマスリース		○	○	○	
		（学校説明会対応）					
	12月	管理、収穫作業⑤	（期末考査 12/8-12）	○	○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	漬け物に使う材料の役割や意味を確認しながら実習に取り組む。				8
		ダイコン、カブ漬け物作成		○	○	○	
		ダイコン、カブ漬け物袋詰め		○	○	○	
		まとめ		○	○	○	
		卒業考査		○	○	○	
	2月		（卒業考査2/2～5）（自宅学習・入選・採点2/19-24）				8
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）				4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
農業	農業と情報	（	2	単位）	4年A組

使用教科書:	実教出版「農業と情報」	使用教材等:	
学習目標:	農業の見方・考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品微生物の利用に必要な資源・能力を育成する。		

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
農業と情報について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	農業と情報に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と情報について特質を理解し，農業の各分野で利用できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		オリエンテーション		○		○	
		農業情報の収集と分析			○	○	
		農業と情報			○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/26-29）				8
		外部情報の収集と分析			○	○	
		中間考査		○	○	○	
		内部情報の収集と分析			○	○	
		外部情報と内部情報を利用した分析		○		○	
	6月	プレゼンテーションの概要		○		○	8
		プレゼンテーションウェアの基本操作①		○		○	
		プレゼンテーションウェアの基本操作②			○	○	
		プレゼンテーションウェアの基本操作③			○	○	
		実技テスト		○	○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）	○	○	○	6
		答案返却					
		（セーフティ教室、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	農業生産や経営情報の分析と活用		○			8
		農業生産と情報の活用			○	○	
		生産過程における情報の活用			○	○	
		農業経営における情報の活用			○	○	
		出荷・販売における情報の活用			○	○	
	10月	管理システム	（中間考査 10/13-16）	○		○	8
		プレゼンテーション検定				○	
		中間考査		○	○	○	
		環境に関する情報と活用		○		○	
		（セーフティ教室・農高祭準備）					
	11月	（農高祭）	（農高祭・振休・ボランティアの日 11/2-11/11）				8
		環境と情報		○		○	
		森林と情報			○	○	
		情報の分析と活用演習①			○	○	
		情報の分析と活用演習②			○	○	
	12月	実技テスト	（期末考査 12/7-11）	○	○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）					8
		食品や地域資源に関する情報の分析と活用		○			
		食品製造と情報の活用		○		○	
		食品の安全管理システム		○		○	
		地域資源と情報の活用			○	○	
	2月	データの種類	（自宅学習・入選・採点2/19-24）		○	○	8
		データの管理		○		○	
		データの分析				○	
		実技テスト		○	○	○	
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）	○	○	○	4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			